

第63回 中部支部会員総会  
報告書

2026年6月23日（火）

ホテルメルパルク名古屋

公益社団法人 日本包装技術協会 中部支部

# 2025年度 公益社団法人日本包装技術協会 中部支部 事業報告

## 第 1 諸 会 議

- 1) 第62回 中部支部役員会  
5月28日(水) 名古屋マリオットアソシアホテル
- 2) 第62回 中部支部会員総会  
6月24日(火) ホテルメルパルク名古屋
- 3) 第1回 運営委員会  
9月12日(金) 名鉄グランドホテル  
第2回 運営委員会  
2026年3月13日(金) 名鉄グランドホテル
- 4) 次年度研究例会等講演テーマ検討作業部会  
2026年2月6日(金) サイプレスホテル名古屋駅前

## 第 2 事 業

### 1. 研究会活動

#### 1) 研究例会

- (1) 2月25日(水) JPI WEB フォーラム 【参加者：93名】  
【日時】 2026年2月25日(水) 13:30~15:00  
【会場】 「Zoom ウェビナー」を利用したオンラインセミナー形式  
【内容】 『物流の変革—持続可能な物流の実現に向け荷主が取り組むべきこと—』  
【講師】 流通経済大学 流通情報学部 教授 大島 弘明 氏
- (2) 3月9日(月) JPI WEB フォーラム 【参加者：126名】  
【日時】 2026年3月9日(月) 13:30~14:30  
【会場】 「Zoom ウェビナー」を利用したオンラインセミナー形式  
【内容】 『コカ・コーラシステムにおけるラベルレスPET ボトルの開発事例』  
【講師】 ㈱コカ・コーラ 東京研究開発センター  
パッケージ開発チーム (包装専士) 飯田 亮 氏
- (3) 2025日本パッケージングコンテスト入賞作品発表会 【参加者：43名】  
【日時】 2025年12月11日(木) 14:00~16:00  
【会場】 対面(会場：ウインクあいち) 聴講+ウェビナー聴講 (Zoom)  
【内容】 ~2025日本パッケージングコンテスト入賞作品の包装の工夫やアイデアを知る~
  - ① 『小型トナーカートリッジの包装箱 ~既存に捉われないシンプル設計~』  
エトリア(株) GPT 本部第一ヶ-事業外- FP 開発室  
FP 開発二グループ 柴田 晃男 氏
  - ② 『ClearE-Sheet — 世界初! 生産時のプラスチックごみを70%削減できるPTPシート』  
CKD(株) 自動機械事業本部 技術統括部 包装技術部第1G 西尾 真吾 氏

③ 『スラリーポンプの機種兼用包装材の開発』

ナビエース(株) 営業本部 関東販売推進部 北條 貴裕 氏

④ 『持ちやすさと混ぜやすさ、環境負荷軽減を追求した新しい納豆トレー』

(株)Mizkan マーケティング本部 開発技術部 開発技術4課 町川 司 氏

【コメンテーター】

あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 環境材料室

主任研究員 村松 圭介 氏

(4) 包装技術講習会 【参加者：95名】

【日時】 2026年3月12日(水) 14:00~16:20

【会場】 対面(会場：ウインクあいち) 聴講+ウェビナー聴講 (Zoom)

【内容】

① 『CAEを活用した形状設計アイデアの考案 -改ざん防止キャップを例として-』

講師：ライオン(株) 研究技術センター 707517111研究所

パッケージ技術T 定家 恵実 氏

② 『貨物試験(JIS Z0200)の変遷について ~ 改正ポイントと問題点及び対策方法』

講師：石塚包装設計・開発事務所 代表 石塚 義夫 氏

【コーディネーター】

あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 環境材料室長 森川 豊 氏

2) 講演会

第62回中部支部会員総会記念講演会 【参加者：49名】

【日時】 2025年6月24日(火) 15:00~16:00

【会場】 ホテルメルパルク名古屋(名古屋市東区葵3-16-16) 3階「シリウス」

【内容】 『職場のハラスメントを起こさないためのヒント』

【講師】 コンフィア社会保険労務士事務所 代表 磯部 法子 氏

3) 見学会 ※調整不調により開催見送り

4) 第65回包装技術研究大会中部大会 【参加者：68名】

【日時】 2026年2月18日(水) 13:00~16:15

【会場】 対面(会場：ウインクあいち) 聴講+ウェビナー聴講 (Zoom)

【内容】 第60期包装管理士(名古屋会場)合格者による

各種包装材の製品開発および改善事例の紹介

① 『冷凍カップケーキ 輸送箱の包装仕様見直しによる作業性改善』

講師：協和ダンボール(株) 営業本部 開発部

課長 (第60期包装管理士) 金津 正人 氏

② 『オロシ専用機の包装の改善』

講師：東海紙器(株) 包装技術部 (第60期包装管理士) 宮地 智乃 氏

③ 『包装仕様の見直しによる長尺木材の積載安定性の向上』

講師：(株)トーモク 小牧工場 販売第三課 (第60期包装管理士) 竹沢 慶太 氏

④ 『海外向け PTP 包装の新規設計』

講 師：エーザイ(株) DHBL PST 製剤研究部

(第 60 期包装管理士) 渥美 菜奈子 氏

⑤ 『クランクシャフト 先行生産用資材の改善、環境配慮資材の導入』

講 師：(株)チューゲン 営業部 係長 (第 60 期包装管理士) 永井 太樹 氏

⑥ 『中袋・大袋キャンディ専用ライン設備導入および包装設計変更による効率化』

講 師：春日井製菓(株) 商品開発部 (第 60 期包装管理士) 佐藤 静 氏

5) 包装研究懇話会 ※調整不調により開催見送り

## 2. 研修活動

### 1) 2025年度包装設計の基礎講座 【参加者：25名】

【日時】 2025年5月15日(木)～16日(金)

【会場】 愛知県技術開発交流センター 交流会議室・研修室

【内容】

(第1日目)

〈包装の役割と包装設計の考え方〉

- ・包装の社会的役割
- ・適性包装に向けて包装設計の考え方

MD ロジス株式会社 物流技術部 パッケージエンジニアリンググループ

主管(包装管理士) 星野 弘行 氏

〈段ボール箱の基礎と応用〉

- ・段ボールの構造と原紙種類
- ・段ボール箱の規格と製造工程
- ・箱の圧縮強さの評価

ダイナパック株式会社 開発本部中部 CSC 部長(包装管理士) 早川 貴司 氏

〈段ボール箱の設計〉

- ・段ボール箱の設計手順
- ・段ボール箱の設計要因と劣化要因
- ・箱圧縮強さの算出法

ダイナパック株式会社 開発本部中部 CSC 部長(包装管理士) 早川 貴司 氏

〈段ボール箱の製作〉

- ・段ボール箱の製作

ダイナパック株式会社 開発本部中部 CSC 部長(包装管理士) 早川 貴司 氏

〈機能性プラスチック包装材料〉

- ・機能性プラスチック包装材料の種類と使用の実例

株式会社アイゼロ 商品開発本部 開発2部 次長 溝端 一幸 氏

(第2日目)

〈緩衝包装設計〉

- ・緩衝包装の目的
- ・緩衝材の種類
- ・緩衝性能と緩衝設計技法

あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 環境材料室 主任研究員 飯田 恭平 氏

〈包装試験の目的と試験法〉

- ・包装試験、包装材料試験の目的と試験法および評価法

あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 環境材料室 主任研究員 村松 圭介 氏

〈包装試験施設の見学〉

包装試験関連施設(衝撃・落下・振動試験、包装材料試験、箱圧縮試験など)の見学

あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター環境材料室 主任研究員 林 直宏 氏 他  
〈トータルコスト削減に向けた集合包装〉

- ・ トータルコスト削減に向けた集合包装

三菱電機株式会社 住環境研究開発センター

設計・品質技術開発部 設計技術開発グループ 新井 達也 氏

〈包装改善とロジスティクス〉

- ・ ロジスティクスの中での包装の役割 ・ 輸送形態の特性とそれに適応した包装改善

株式会社デンソーロジテム 物流サービス本部 包装管理室 直納包装課

リーダー（包装専士） 小林 隆人 氏

## 2) 第60期包装管理士講座

(名古屋会場合格者：60名／輸送包装コース：44名、生活者包装コース：16名)

〈集合研修〉1日間(コース別/対面) ロワジールホテル豊橋

○生活者：6月5日(木)開講

○輸送：6月4日(水)開講

〈統括教科〉1日間/5教科 ※オンライン

○全受講者：6月11日(水)開講

〈材料教科〉3日間/6教科 ※オンライン

○全受講者：6月18日(水)～20日(金)開講

〈専門教科〉4日間/8教科(コース別) ※オンライン

○輸送：7月1日(火)～7月4日(金)開講

○生活者：7月8日(火)～7月11日(金)開講

〈包装管理士試験〉1日間

○全受講者：8月25日(月)実施

〈合宿研修〉2泊3日(コース別/対面) ロワジールホテル豊橋

○生活者：9月3日(水)～9月5日(金)開講

○輸送：9月8日(月)～9月10日(水)開講

- ・ 第60期包装管理士合格証書授与式・交流会 【参加者：50名】

【日時】 2025年11月7日(金)

【会場】 サイプレスホテル名古屋駅前(名古屋市中村区)

## 3) 第16回食品包装コース 【参加者：31名】

※「Zoom ウェビナー」を利用したオンライン配信で実施

【第1回】2026年2月4日(水) 「食品包装の役割」

【第2回】2026年2月10日(火) 「食品包装用の包装材料」

【第3回】2026年2月16日(月) 「食品の変質防止と包装」

【第4回】2026年2月24日(火) 「食品包装の安全性、環境問題と今後」

講師：加藤包装技術事務所 所長 加藤 武男 氏

坂巻技術士事務所 坂巻 千尋 氏

4) 第42回フレキシブルパッケージコース 【参加者：47名】

【日時】 2025年12月5日(金) 10:00~17:00

【会場】 JPI本部 A会議室

【内容(プログラム)】

1. フレキシブルパッケージ(軟包装)とは
2. フレキシブルパッケージ用原材料について
3. フレキシブルパッケージの衛生性
4. フレキシブルパッケージの製造
5. フレキシブルパッケージの設計
6. フレキシブルパッケージを取り巻く話題

講師：下山田包装技術事務所 所長 下山田 正博 氏

3. 会員交流活動

1) 第62回 中部支部会員総会 会員交流会 【参加者：49名】

【日時】 2025年6月24日(火) 16:00~17:30

【会場】 ホテルメルパルク名古屋(名古屋市東区) 3階「若葉」

2) 2026年中部包装界新年賀詞交歓会 【参加者：95名】

【日時】 2026年1月22日(木) 15:00~17:00

【会場】 名古屋マリオットアソシアホテル(名古屋市中村区) 17階「コスモス」

4. その他関連事業

1) 暮らしの包装商品展

開催日：2025年10月3日(金)~4日(土)

開催場所：イオンレイクタウン kaze 光の広場

内容：参加者総数9,504名(2日間合計)

2) 第63回全日本包装技術研究大会仙台大会

開催日：2025年12月18日(木)~19日(金)

開催場所：仙台国際センター

内容：発表5部会50件、参加者数364名

### 第 3 組 織

会員動勢（2025年4月1日～2026年3月31日）は、次の通りです。

#### 1. 法人会員

2025年度期首	2025年度		
979社	入会数 28社	退会数 38社	現在数 969社

#### 2. 個人会員

2025年度期首	2025年度		
124名	入会数 21名	退会数 24名	現在数 121名

#### <会員登録動勢一覧>

		2025年 4月1日	本年度		2025年度 合計(3月末)
			入会	退会	
会員総数		1103	49	62	1090
法人		979社	28社	38社	969社
(口数)		(1005)	(28)	(38)	(995)
個人		124名	21名	24名	121名
登録員数	法人	979社 2581名	28社 58名	38社 102名	969社 2537名
	個人	124名	21名	24名	121名
	合計	2705名	79名	126名	2658名
本部(東京)	法人	1523名	29名	56名	1496名
	個人	63名	13名	9名	67名
関西支部	法人	539名	14名	34名	519名
	個人	30名	5名	9名	26名
中部支部	法人	344名	12名	7名	349名
	個人	18名	2名	5名	15名
西日本支部	法人	90名	1名	1名	90名
	個人	4名	1名	0名	5名
北海道支部	法人	43名	0名	3名	40名
	個人	1名	0名	0名	1名
東北支部	法人	42名	2名	1名	43名
	個人	8名	0名	1名	7名

## 2025年度 中部支部事業別実施状況報告

2025年4月1日～2026年3月31日

※支部直接経費のみ抜粋

### 〈収入の部〉

単位：円(税込)

科目	事業名	予算(A)	実施(B)	差異(A-B)
研修事業	(包装管理士講座)			
	包装設計の基礎講座	1,267,200	1,278,200	▲11,000
	研究例会	27,500	0	27,500
	包装技術研究大会 中部大会	11,000	6,600	4,400
	包装研究懇話会	0	0	0
	(全日本包装技術研究大会)			
交流事業	見学会	165,000	0	165,000
行事	賀詞交歓会	220,000	319,000	▲99,000
受取利息	受取利息	0	5,680	▲5,680
合計		1,690,700	1,609,480	81,220

### 〈支出の部〉

単位：円(税込)

科目	事業名	予算(A)	実施(B)	差異(A-B)
研修事業	(包装管理士講座)			
	包装設計の基礎講座	645,000	556,200	88,800
	研究例会	672,000	416,339	255,661
	包装技術研究大会 中部大会	360,000	94,880	265,120
	包装研究懇話会	61,000	0	61,000
	(全日本包装技術研究大会)			
交流事業	見学会	282,000	0	282,000
行事	賀詞交歓会	1,630,000	1,385,740	244,260
合計		3,650,000	2,453,159	1,196,841

\*「包装管理士講座」・「全日本包装技術研究大会」・「食品包装コース」・「フレキシブルパッケージコース」は、本部事業につき上記研修事業内に含まれておりません。

\*上記事業報告は、6月12日(金)開催の本部総会資料の一部抜粋です。したがって、支部の運営予算を示したものではありません。

\*上記科目を含めた年会費・運営費等の間接配賦は本部で一括管理しております。

# 2026年度（公社）日本包装技術協会 中部支部 事業計画

## 第 1 諸 会 議

- 1) 第63回 中部支部役員会  
5月27日（水） 名古屋マリオットアソシアホテル
- 2) 第63回 中部支部会員総会  
6月23日（火） ホテルメルパルク名古屋
- 3) 2026年度 第1回運営委員会 9月25日（金）  
2026年度 第2回運営委員会 2月下旬 or 3月中旬
- 4) 次年度研究例会等講演テーマ検討作業部会 （日程・会場未定）

## 第 2 事 業

### 1) 研究会活動

#### (1) 研究例会

- ①JPI WEB フォーラム（JPI 全支部共同ウェビナー） ※Zoom ウェビナーで実施予定
- ②包装技術講習会  
10月 or 11月下旬 ※対面（ウインクあいち）＋ウェビナー（Zoom）
- ③2026日本パッケージングコンテスト入賞作品発表会  
12月上旬 ※対面（ウインクあいち）＋ウェビナー（Zoom）

#### (2) 会員総会記念講演会

6月23日（火） メルパルク名古屋

#### (3) 見学会／包装研究懇話会

9～10月予定

#### (4) 第66回包装技術研究大会中部大会

2027年2～3月 ※対面（ウインクあいち）＋ウェビナー（Zoom）

### 2) 研修活動

#### (1) 2026年度包装設計の基礎講座

5月14、15日（木、金） 愛知県技術開発交流センター

#### (2) 第61期包装管理士講座

7月～8月 統括／材料／専門の各教科・包装管理士試験 オンライン（一部対面）  
7月・11月 集合・合宿研修 ロワジュールホテル豊橋

#### (3) 第61期包装管理士合格証書授与式・交流会

2027年1月15日（金） サイプレスホテル名古屋駅前

### 3) 交流活動

#### (1) 第63回 会員総会・交流会

6月23日（火） メルパルク名古屋

#### (2) 2027年中部包装界新年賀詞交歓会

2027年1月21日（木） 名古屋マリオットアソシアホテル

### 4) その他

#### (1) 東京国際包装展（TOKYO PACK）

10月14～16日（水～金） 東京ビッグサイト東ホール

#### (2) 第64回全日本包装技術研究大会新潟大会

2027年3月4～5日（木～金） 朱鷺メッセ（新潟コンベンションセンター）

## 2026年度 中部支部事業別実施計画

2026年4月1日～2027年3月31日

※支部直接経費のみ抜粋

### 〈収入の部〉

単位：円(税込)

科 目	事 業 名	2026年度概算 (A)	2025年度予算 (B)	増減(A-B)
研修事業	(包装管理士講座)			
	包装設計の基礎講座	1,267,200	1,267,200	0
	研究例会	27,500	27,500	0
	包装技術研究大会 中部大会	6,600	11,000	▲4,400
	(全日本包装技術研究大会)			
交流事業	見学会／包装研究懇話会	165,000	165,000	0
行 事	新年会	220,000	220,000	0
受取利息	受取利息			0
合 計		1,686,300	1,690,700	▲4,400

### 〈支出の部〉

科 目	事 業 名	2026年度概算 (A)	2025年度予算 (B)	増減(A-B)
研修事業	(包装管理士講座)			
	包装設計の基礎講座	685,000	645,000	40,000
	研究例会	672,000	672,000	0
	包装技術研究大会 中部大会	260,000	360,000	▲100,000
	(全日本包装技術研究大会)			
交流事業	見学会／包装研究懇話会	282,000	343,000	▲61,000
行 事	新年会	1,630,000	1,630,000	0
合 計		3,529,000	3,650,000	▲121,000

\*「包装管理士講座」・「全日本包装技術研究大会」・「食品包装コース」・「フレキシブルパッケージコース」は、本部事業につき上記研修事業内に含まれておりません。

\*上記事業計画は、6月12日(金)開催の本部総会資料の一部抜粋です。したがって、支部の運営予算を示したものではありません。

\*上記科目を含めた年会費・運営費等の間接配賦は本部で一括管理しております。

## 2026年度 中部支部 役員

(敬称略/氏名50音順) (○印:新役員)

支 部 長	吉田 将之	浅野段ボール(株)	代表取締役社長
副支部長	○太田 幸伸	あいち産業科学技術総合センター	産業技術センター長
役 員	伊藤 公一	フタムラ化学(株)	常務取締役 PF生産物流本部長
	大辻 雄介	ナビエース(株)	代表取締役社長
	○神谷 強	刈谷紙器(株)	代表取締役社長
	○久野 元久	(株)デンソーロジテム	物流サービス本部 包装管理室長
	○後藤 征樹	(株)チューゲン	代表取締役社長
	○佐藤 直志	明治チューインガム(株)	代表取締役社長
	杉山 昌樹	笹徳印刷(株)	代表取締役社長
	○塚本 崇徳	日本通運(株)	名古屋支店コーポレートリレーション部 業務次長
	○出口 剛士	ダイナパック(株)	取締役執行役員 企画本部経営企画室長
	寺田 知史	京セラ(株)	経営管理本部経営管理部 部長
	戸田紳一郎	東海漬物(株)	専務取締役
	鳥居 晃好	名港海運(株)	執行役員 営業第3部長
	○夏目 徹也	ホーユー(株)	執行役員 生産本部本部長
	西 祐二	(株)Mizkan	日本・アジア事業 仕入統括部長
	彦坂 謙二	(一財)中部生産性本部	専務理事
	見田 昌靖	見田工作(株)	代表取締役社長
	宮田 敏弘	(株)フジキカイ	取締役 営業本部長
	盛田 智	(株)アイセロ	代表取締役社長
	山本 貞巳	レンゴー(株)	理事 中部事業部長
顧 問	山口 淳	名港海運(株)	取締役専務執行役員

## 2026年度 中部支部 運営委員

(敬称略/氏名50音順) (○印：新運営委員)

運営委員長	鳥居 晃好	名港海運(株)	執行役員 営業第3部長
委員	○青木 宏純	ホーユ一(株)	生産・物流本部品質保証部品質保証3課長
	井上 知木	見田工作(株)	常務取締役
	大熊 強志	(株)Mizkan	仕入統括部調達2課 主任
	大山 孝一	ナビエース(株)	取締役 営業本部 副本部長
	岡田 俊紀	(株)アテック・ホレーション	常務取締役
	岡部 智	(株)オカベカミコン	代表取締役社長
	○加藤 貴志	(株)チューゲン	取締役 営業本部長
	○神谷 慎吾	刈谷紙器(株)	取締役 製造部長
	北原 圭介	笹徳印刷(株)	クリエイティブ企画本部 シニアパートナー
	○北元 雄	京セラ(株)	物流部物流技術課包装技術係 責任者
	小林 隆人	(株)デンソーロジテム	物流サービス本部包装管理室 課長
	柴田 幸樹	ヤマハ発動機(株)	生産本部製造統括部組立技術部 物流技術グループ グループリーダー
	杉村 知則	リスパック(株)	品質保証部 部長
	鈴木 康二	浅野段ボール(株)	営業部 開発課長
	○鈴木 麻美	王子コンテナ一(株)	営業本部 CS推進部設計・デザイン室(静岡) 室長代理
	○永井裕次郎	東海漬物(株)	漬物機能研究所 商品開発課長
	花市 岳	フタムラ化学(株)	中部統括 開発グループ グループリーダー
	松田 裕行	(株)アイセロ	執行役員 R&D本部兼新規事業本部 本部長
	丸山 浩司	ダイナパック(株)	開発本部長
	森川 豊	あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 環境材料室長	

# 公益社団法人日本包装技術協会

## 中部支部規則

### (名称および事務局)

第1条 本会は公益社団法人日本包装技術協会・中部支部と称し、事務局を愛知県内に置く。

### (目的)

第2条 本規則は、公益社団法人日本包装技術協会の支部運営規則に基づき、本会の活動および運営を円滑に遂行するために定める。

第3条 本会は包装技術等の向上改善を通じて生産、流通および消費の合理化を図り、もって地域諸企業および地域経済の発展に寄与することを目的とする。

第4条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

1. 調査、研究
2. 研究会、講演会および見学会の開催
3. 研修、教育
4. 技術の指導および相談
5. 資料の蒐集整理および配布
6. 国内関係機関との連絡提携
7. その他本会の目的を達成するために必要な事業

### (会員)

第5条 本会は公益社団法人日本包装技術協会の会員のうち主として中部地区に在住する者をもって組織する。ただし、他地区在住会員の当支部所属および当地区在住会員の他支部所属はこれをさまたげない。

2. 会員は次の2種とする。

(1)正会員

本会の目的に賛同し、入会金および会費を納めた法人または個人

(2)特別会員

学識経験者で役員会において承認されたもの

### (役員および任期)

第6条 本会に次の役員を置くことができる。

(1)支部長 1名

(2)副支部長 若干名

(3)役員 若干名

2. 支部長は本会を代表し、会務を総理する。又、総会および役員会を召集しその議長となる。

副支部長は支部長を補佐し、支部長に事故あるときはこれを代理する。

役員は役員会を通じて本会の重要会務を審議する。

第7条 役員は総会において選出し、その任期は2年とする。ただし、再任をさまたげない。

2. 任期中において補充された役員の任期は残任期間とする。

3. 役員は任期が満了しても後任者が就任するまでは、その職務をおこなうものとする。

(運営委員会)

- 第8条 本会に運営委員会を置き、さらに業務の運営に必要なときは特別委員会を置くことができる。
2. 委員は業務の企画および運営の具体的方法その他を審議し、その推進にあたる。
  3. 委員長および委員は会員の中より、支部長が委嘱する。

(総会)

- 第9条 総会は年1回以上開催し、規約の改正その他重要事項を議決する。
- 第10条 総会の議決は出席者の過半数によって決する。  
可否同数の場合は議長の決するところによる。

(事業年度)

- 第11条 本会の事業年度は毎年4月1日にはじまり、翌年3月31日に終わる。

(その他)

- 第12条 本規則に特に定めない事項については、公益社団法人日本包装技術協会の定款および支部運営規則を準用する。

附 則

この規則は本会発足の昭和39年9月9日から実施する。

昭和39年9月9日制定  
昭和56年5月29日改正  
平成8年8月1日改正  
平成22年10月12日改正  
平成23年11月1日改正  
平成24年5月17日改正  
令和8年6月23日改正